

創薬基盤化学研究若手セミナー  
第14回 特別講演会

講師 **沖津 貴志 先生**

神戸薬科大学・講師

演 題

「ヨード環化反応を基軸とする複素環合成」

講師 **前川 智弘 先生**

近畿大学薬学部・准教授

演 題

「強固な保護基の新規変換反応」

日時：2016年3月18日(金) 午後3時半から

場所：サイエンスコア 5F 教員会議室

教員、大学院生の多数のご参加をお待ちしています！

【主催】 立命館大学総合科学技術研究機構

創薬科学研究センター

(連絡先：薬学部 精密合成化学 土肥寿文 (内線: 6181))

## 沖津 貴志 先生

演題：「ヨード環化反応を基軸とする複素環合成」

【ショートアブストラクト】 1価のカチオン性ヨウ素試薬を用いるアルキンへのヨード環化反応は、環構築法としてのみならず、生じるヨウ素部位の更なる官能基変換が可能であることから、多官能基化された複素環の有用な構築法とみなすことができる。これまで演者らは、ヨード環化反応における「分子内求核剤」「アルキン」「1価のカチオン性ヨウ素試薬」の各々の反応性を厳密に制御することで、広範囲にわたる複素環を構築する手法を開発し、さらには酸化的芳香化の自在制御法や、室温かつ短時間で完了する複素環合成法を編み出してきた。

本日は、上記の研究内容と医薬品合成への応用例について、反応開発の経緯を交えつつ紹介したい。

主な受賞歴： 平成23年 1月 日本薬学会近畿支部奨励賞受賞

※ 研究室URL: <http://www.kobepharma-u.ac.jp/ocls/index.html>

## 前川 智弘 先生

演題：「強固な保護基の新規変換反応」

【ショートアブストラクト】 ジオールの保護基であるメチレンアセタールは、他の保護基に比べ強固な保護基であることが知られている。これまでに演者らはその温和な条件下での脱保護反応の開発ならびに他の保護基への変換反応について研究を行ってきた。また、強酸性や強塩基性条件を必要とするメチレンアセタールの保護反応についても検討し、温和な条件下での新たな保護法を開発してきた。その過程において、強固な保護基であるメチレンアセタールが温和な条件下で開裂する新たな変換反応を見出した。またその他に、リン原子を活用した新規複素環構築法についても紹介する。

主な受賞歴： 平成20年 7月 有機合成化学協会東海支部奨励賞  
平成21年 7月 JSPS(日本プロセス化学会)優秀賞

※ 研究室URL: <http://www.phar.kindai.ac.jp/iyakuhin/>